

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政報告>

第63号

2007年1月15日
一月刊一



古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
(インターン生：前川・山崎) TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

行政改革と議会改革

二〇〇七年がスタートしました。皆様はどんな三が日をお過ごしになりましたか？私は元旦から地元の神社で元旦式に出席するのが慣例となつています。今年も例年同様、家の近くの地元の神社に初詣に行かれた方が多いようです。いつも通り一年間健康に過ごせることを祈願いたしました。今年ももう一つ大事なことを祈願させていただきます。2日は箱根駅伝の応援。必死で走っている選手からは、自分の持っている力の限界まで挑戦する勇気をいただきました。

さて、今年の横浜市は創造的な改革をする年にしたい、と市長は言っています。今までは財政が厳しいために、外郭団体の統廃合、公共施設の運営主体の見直し、行政職員の削減、行政業務の効率化、各種助成金の見直し等、横浜市は改革を行ってきました。しかし、それはある意味マイナスをゼロにする改革でした。今後は市民満足度をさらに高めるために攻守交代、守りの改革から攻めの改革にしたいと考えています。

横浜市民の皆様の生活が充実し、よるこんでいただけの政策を次々と打ち出し、他の自治体の模範となり、横浜から日本を変え、横浜から地方分権を実現させて行く。そのためには行政だけでなく横浜市も変わらなければなりません。

議会の情報公開では、インターネット中継や録画、特別委員会の傍聴は実現しましたが、議員定数の削減や政務調査費の透明性の確保も行わなければなりません。そして、何よりも市民のための政策を市長部局と競い合うような政策提案型の議会になれば横浜は大きく発展すると思います。開港一五〇周年に向けて様々なイベントが企画されていますが、一五〇周年を機会に、もっと足下から見直し横浜市民が改革しなければ、行政に改革を要求することはできないと思います。もちろん何のための改革かといえば、市民満足度を上げるための改革です。議会や行政のための改革ではなく、横浜に住んでいる誰もが横浜で暮らして良かったと思っただけでいい。街にするための議会改革でなければなりません。

いざなぎ景気を超え好景気が続いていると言われても一般市民の感覚からすれば、まだ実感が湧きませんし、ワーキングプア、ニート問題をはじめ年金等将来的な不安を抱えている人も多くおられます。大所高所からだけではなく、生活に根ざした政策を今後も提案できるように努めていきたい

と思います。

また「市民との協働」についても考えてみたいと思います。G30に象徴されるように「協働」という言葉は私たちの生活の中で定着してきました。しかし、本物の協働とは、行政の側からではなく、市民の側から提案することだと思っています。そのためにはさらに市民活動が活発になり、一人一人の市民の皆様が自らの責任を自覚していただくことが大切だと思います。広報よこはまを毎月お読みいただくことや地域の行事に参加されること、ご自身で関心を持ち社会貢献できるボランティアを立ち上げることなども素晴らしいと思います。

今年の秋には鶴ヶ峰駅南口再開発ビルに市民活動支援センターが開設されます。このセンターを積極的に活用していただき、行政任せではなく市民自らが自分たちの意思で動き、街を創っていくことが大切だと思います。市民、行政、議会がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって旭区、横浜が発展することを願います。新年の抱負とさせていただきます。

最後に、明るいご報告を一つさせていただきます。旭区役所は今年5月から第2第4土曜日に戸籍課・保険年金課・サービス課（一部業務）の窓口をオープンすることになります。コールセンターやネーミングライツほどではありませんが、以前から私が提案していた政策です。月曜日から金曜日まで働いている方は、区役所で様々な手続きができません。これは私が以前横浜銀行に勤めていた時に感じていたことでした。二俣川駅に行政サービスコーナーはありませんが、複雑な手続きは区役所で行うべきだと思います。役所がサービス業であるならば、将来的にはすべての土曜日と日曜日営業すべきだと思います。それができないのであれば、ご自宅で手続きができるように電子市役所を完璧にして、納税の決済等はクレジットカードを利用できるようにすべきであると思います。（軽自動車税のクレジットカード決済は平成十八年度に藤沢市で実施）

横浜市議のサービスや私の提案している政策に対してご意見をお待ちしております。今年一年の皆様とご家族の皆様がますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします！

横浜市議員 古川なおき

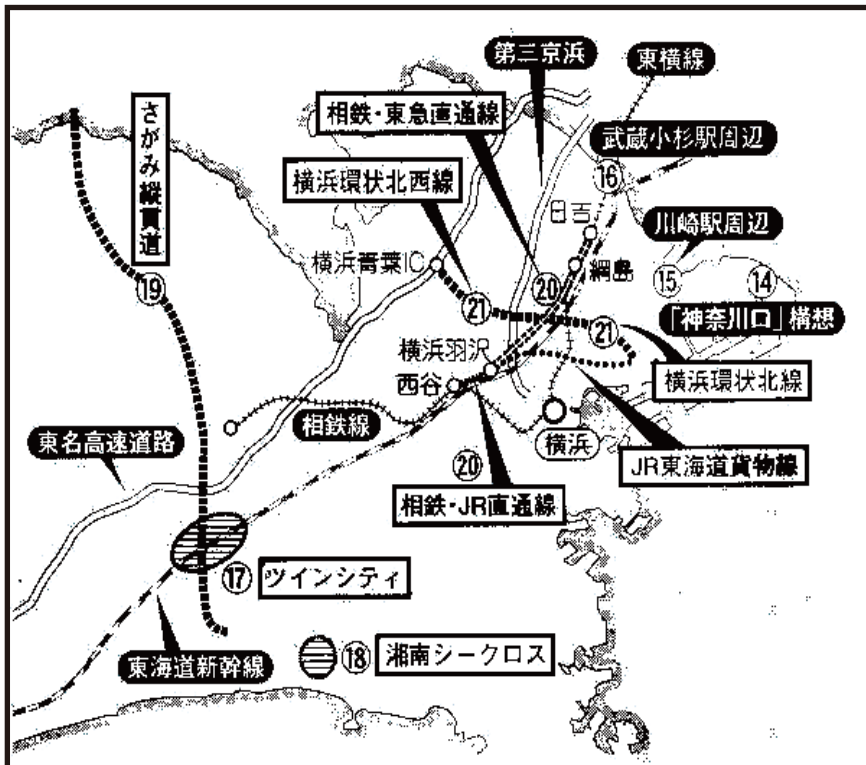
2007年

横浜の街が ますます魅力的に！

横浜都心部（横浜～関内）

「相鉄線・JR」と「相鉄線・東急」

相鉄・JR直通線（相鉄線西谷駅～JR東海道貨物線横浜羽沢駅、約2.7km）はすでに着工済みで2015年3月に完成予定。
 相鉄・東急線直通（横浜羽沢駅～東急東横線日吉駅、約10km）は2007年4月に着工し、2019年3月に完成する予定。



- ①横浜駅周辺
2007年中に土地の高度利用やバリアフリー化など具体的な再整備構想をまとめる予定
- ②新高島駅周辺
MM21地区66街区に日産自動車の本社ビルが2009年末に完成予定
- ③みなとみらい駅周辺
三菱地所がみなとみらい駅の真上に16階建ての大型賃貸オフィスを建設予定（2007年12月完成予定）
- ④桜木町駅周辺
桜木町駅前にホテルや市内最大のシネマコンプレックスが入る複合商業ビルが2009年8月に完成予定
- ⑤新港地区
横浜赤レンガ倉庫に隣接する4街区に都市型リゾートホテルが2009年春に開業見通し
- ⑥馬車道駅周辺
馬車道駅そばの北仲通北地区に高さ200m級を含む高層ビルが2014年以降に完成予定
- ⑦関内・日本大通り駅周辺
県警本部庁舎跡地に3棟の大型複合ビルが2009年秋に完成予定

横浜駅周辺（西口・東口）

横浜駅西口のシャルとエクセルホテル東急を建て替え、一体的な高層ビルとして再整備する構想が検討されており、横浜市や鉄道事業者などが2007年中に具体的な事業計画をまとめる予定となっている。



時局講演会2007
旭タウン
ミーティング
(仮称)

☆ゲスト：
中田宏横浜市長
 ☆ 3月15日(木)
 19時～
 ☆ 八ッ橋幼稚園
 体育館にて
 ☆ 古川なおき
 事務所主催
 ☆ お問合せは
 電話391-4000
 ご観覧希望の方もこちらへ！



昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成18年度市民活力推進・教育委員会
 副委員長
 同 青少年市民スポーツ特別委員会
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長

鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイト・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中

古川なおき
プロフィール